

元気なまちかど

No.1

県内で初確認

謎多き「ヒトエグモ」

1月上旬、水口町東海道沿いの民家で、非常に珍しい形態を持つ「ヒトエグモ」が発見されました。全国でも京都、大阪など数件の採集例しかなく、県内では初めての確認となります。

体長5〜8mmと小型で体高1mm以下と平べったい体形が特徴です。古民家の中や古木の樹皮の下などに生息しているとみられますが、発見例が少なく謎の多いクモです。発見されたクモは標本にされ、みなくち子どもの森で2月18日、公開と説明会が行われました。参加者は、興味津々な様子でクモに見入っていました。



▲ヒトエグモをじっと観察する子ども

No.2

翹で健康な体づくりを

TUNAGARU会 大人の調理実習

TUNAGARU会による大人の調理実習「翹たっぷりヘルシーワンプレート作り」が2月24日、雲井小学校で開催されました。

TUNAGARU会は、子どもの成長とともに少なくなる母親同士の出会い・つながりの場を作ることを目的に、年間を通してさまざまなイベントを実施しています。

この日は講師としてパン教室を主宰するkeikoさんを招き、塩翹や生甘酒など翹を使った料理作りが行われました。参加者は調理のアドバイスを受けながら、翹が疲労回復など健康に良いことも学び、「家の料理にも翹をもっと取り入れたい」と話していました。



▲講師(中央)のアドバイスのもと調理する参加者

No.3

忍ばず、盛大に

SHINOBI TRAIN 運行開始

JR草津線と信楽高原鉄道(SKR)で、忍者などが車体に描かれたラッピング列車「SHINOBI TRAIN」の運行が2月25日から始まりました。

JRとSKRが乗り入れる貴生川駅にはこの日、ホームに大勢の見物客が集まり、和太鼓演奏や行者講とともに盛大に忍者列車を迎えました。JRの車両は黒色ベース、SKRの2両はそれぞれ紫色と緑色をベースに、さまざまなポーズの忍者が描かれています。

躍動感溢れるデザインの忍者列車にぜひ、ご乗車ください。



▶貴生川駅に到着したSKRの「SHINOBI TRAIN」



▲個性豊かな作品が展示された会場

No.4

個性豊かな作品並ぶ

甲賀市美術展覧会

第12回甲賀市美術展覧会が2月25日から3月5日まで、あいこうか市民ホールと碧水ホールで開催されました。

平面、工芸・立体、書、写真の4部門に応募があった305点が展示されました。また、今回初となる伊賀市と亀山市の2016年度最優秀作品を展示し、近隣の市との文化交流を行いました。来場者は多彩で個性豊かな作品に感心しながら鑑賞していました。

各部門の甲賀市展賞受賞者は、次の皆さんです。(敬称略)
 平面/池本たまき「7人の孫」 書/長谷川暢宇「郭筆詩」
 工芸・立体/山田尚治「シーサー」 写真/小谷博司「大空へ」



ニンニン 2月22日は

忍者の日



No.5

歴史学者を招いた パネルディスカッション

忍者の日を記念したパネルディスカッションがあいこうか市民ホールで開催され、約850人が来場しました。

歴史学者磯田道史さんをはじめ、忍者研究家や岩永市長をパネラーに、「隠れる忍者、見つける市役所」と題したパネルディスカッションが行われました。パネラーは、古文書から分かる忍者の実像や魅力、忍者を生かしたまちづくりなどを熱く語りました。

また、本物の忍者を求めて調査する「甲賀流忍者調査団 ニンジャファインダーズ」の団長に磯田さんが就任され、会場は大いに盛り上がりしました。



▲パネルディスカッションの様子

No.6

趣向を凝らした特別学校給食

市立の小中学校と幼稚園・保育園で「忍者の日特別給食」が提供されました。

子どもたちに忍者の日をPRし、「忍者のまち甲賀」に愛着を持ってもらうおとと実施されたもので、黒影米のご飯とかんぴょうなどを使った忍者巻き、手裏剣模様のかまぼこが入った忍者鍋など趣向を凝らした献立が並びました。

甲南第二小学校では、岩永市長や市職員が忍者姿で登場し、児童と一緒に特別給食を楽しみました。児童たちは、忍者についての話を弾ませながら、おいしそうに味わっていました。

▲特別給食を味わう児童たち